

《編集後記》

今年は、気象庁が梅雨明けの日を特定できないほどの異常気象でした。また、冷夏によって、過去に経験したことのないような冷害を被りました。

東北地方の作況指数をみると、太平洋側ではかなり低い数値であったのに対して、奥羽山脈を隔てた日本海側では、太平洋側ほど低くはなかったようです。この差は、東北地方に特有の北東風である「やませ」の影響によるものとのことです。

協会誌「大地」も、今回で第13号となりました。

協会では、皆様の投稿原稿、編集内容についてのご意見、ご希望をお待ちしております。会員の皆様には、年末を迎えてお忙しい日々を過ごされていると思います。これからの時期、忘年会などでお酒を酌み交わす機会も多くなると思いますが、体調を崩さないよう注意されて、平成6年もご活躍されることをお祈り申し上げます。

(大友)

協会誌『大地』発行・編集

『大地』第13号

平成5年11月30日発行

社団法人 全国地質調査業協会連合会

東北地質調査業協会

広報委員会

編集責任者 田 矢 盛 之

仙台市青葉区本町3-1-17 (やまふくビル)

電 話 022-268-1033

FAX 022-221-6803

表 紙 建設省東北地方建設局「玉川ダム」紅葉
裏表紙 建設省東北地方建設局「玉川ダム」玉川温泉及び中和施設
題 字 長谷前理事長揮毫